

好機逃さぬバッティングで全国大会出場に貢献

令和3年度県社会人軟式野球
優秀選手賞 受賞

田村 優樹 さん

たむら・ゆうき 22歳 大泉



平成11年生まれ。岩手大学4年。ファースト、左投げ左打ち。尊敬する人はオリックスの吉田正尚選手で、左打ちの参考にする。趣味は野球動画の観賞。お気に入りの曲はネクライトーキーの「明日にだって」。好きな言葉は「好きこそものの上手なれ」

昨年12月12日に行われた県社会人軟式野球の表彰式で、優秀選手賞を受賞した田村優樹さん。「受賞するなんて考えもしなかった。素直にうれしい」とにっこり笑う。

サンデースに所属する父の試合の応援に行ったり、父とキャッチボールしたりするのが、物心つく前からの休日の定番だった。平館小時代は平館ジュニアサンデースポ少に所属し、中学でも野球部に入部。中学2年進級時に顧問が変わり、恩師として尊敬する川原敦先生と出会う。勝つための練習は厳しかったものの、「部員一人一人と真摯に向き合う先生の熱血さを信じて取り組んだ。3年の春に走り込みの成果がピッチングに表れたときのうれしさを覚えている。物を大事にすること、あいさつや感謝の気持ちなど一人の人間として大切なことをたくさん教えてもらった」と感謝する。平館高野球部を経てサンデースに所属しバッティングに力



昨年の高松宮賜杯東北大会決勝の打席

を入れる。昨年の高松宮賜杯第65回全日本軟式野球大会(一部)県予選準々決勝、東北大会決勝とホームランを放ち、チームの優勝に貢献。「好球だと思った瞬間には自然にバットを振っていた」と振り返る。全国大会は新型コロナウイルスの流行状況を鑑み、チームが出場を辞退。「2年連続で全国の切符を掴んでるのに、新型コロナの影響で出場を逃している。来年こそは全国の舞台で活躍したい」と目標に向け練習に励む。

「アルミニウム鋳物の質をより高め、自動車産業の発展に貢献したい」と大学で鋳造の研究に注力する。気分転換に素振りをしつつ、野球、研究の目標達成に向けた分析に余念がない。

【広告】

いぼ、癌、免疫系等
コミュニティバス「にね眼科」バス停すぐ
薬のプロフェッショナルがあなたのご相談を承ります
漢方のあさひ薬局 西根中学校前店
公認スポーツファーマシスト
国際中医専門相談員
認定実務実習指導薬剤師
薬剤師 斎藤 貴将
八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311

■編集後記

▽五日市コミセンで土屋恵さんに会うことができました。激励された土屋さんは「こんなにも地元から応援してもらえるといいことが、本当に、本当にうれしいです」と涙をこらえながら喜んでいました。感情のこもった素直な言葉にもう泣きそうになるとともに、一気にファンになりました。▽県民体育大会スキー大会のジャンプ競技撮影に挑戦しました。やっぱりスポーツを撮影するのは、難しいですね。試技を含めて、4回撮影するチャンスがあったので、なんとか乗り切りました。2月のインターハイに向けてもっとレベルアップして、選手たちの頑張りを伝えたいと思います。

雅